

はづ

No. 16

羽津地区市民センター
羽津地区社会福祉協議会
昭和63年3月25日



お年寄りと子どもとのふれあい！

—餅つき大会—

「ベッタンコ！」「ソレ！」「ベッタンコ」冷えこんだ冬の朝、春風会のおじいさん、おばあさんに来ていただいていた餅つきは、子どもたちの笑顔と真剣な目が輝く中、やさしさ色に彩られた望でいっぱいになりました。あとでみんなでいただいた餅のおいしかったことは勿論、米を餅にして食用にする昔の人の知恵を見直し、その過程を知ることができました。そして、おばあさんの手返しとおじいさんの手でキネの持ち方を教わったり、助けられたりして餅をついた経験は、作る楽しみが伝わるものでまさに伝承そのものです。

このようなお年寄りとの交流は、毎月4人のおばあさんに来ていただき、四季折々の草花・木の実での遊び、竹筒水鉄砲・お手玉作りや昔話などを教えていただいています。

こうした地域の人々とのふれあいから豊かな自然から学び育つ子どもたち。この羽津をふる里として育つ子どもたちにこの地の生活と文化を創り出す力をはぐくんでいきたいと思ひます。

(羽津保育園長 小川 祥子)



▲ 羽津保育園にて

地域の広場



好評だった 不用品バザー

大宮町 山下 佐代

現在、大宮町婦人部は、婦人会員によって運営しており、その主な活動は、年一回の「不用品販売」と「ごきぶり団子作り」をして町の皆さんとの連帯を計っております。

二つの活動は、いづれも好評でお互いに情報交換のできる場所として、また親睦の輪を広めるという事において、活動に拍車をかけております。ここでは特に前者について詳細にお話ししたいと思います。

不用品販売は、販売に先がけて会員がそれぞれに家庭に眠っている品物を、また町の皆さんにもお声を掛け、希望の価格を付けて頂



みなさんに喜んでいただければ？

いた品物を市民センターに持ち寄り、売り場面積をそれぞれに、家庭用品、日用品、衣料品、野菜コーナー等に分け準備します。また無料コーナーもあるのですよ！

来店されるお客様も主婦業うん十年の方ばかり、「〇〇さん！これ一寸高いからもう一寸かけてよ！」そうねえ〇〇さんの事だから、まけとくわ！こんな具合で、こちらが付けた価格で買って頂く品物は殆んどなく、骨折りの損のくたびれ儲け、でもこれでよいのだと会員一同納得済み、少しでもお客様に喜んで頂ければ、それでよいのですから……こうして得た収益の八割をそれぞれの方にお返しし、二割を福祉活動に役立てようと思っております。

以上が詳細ですが、前年度の部長さんから役を引き継ぎ一年が経過としております。来年度は、これからの活動に加え、より一層地域の方々とのふれあいを深める為に、また福祉の面で役に立つ事はないか？と現在会員一同模索しております。

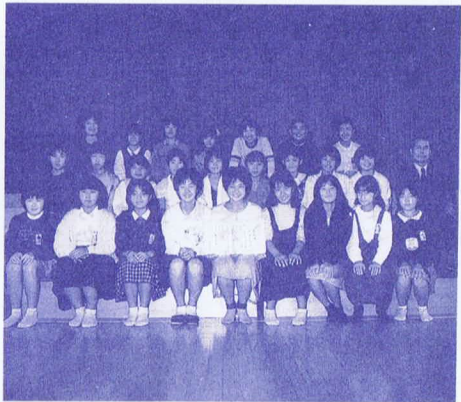
去る二月十九日(金)に老人家庭看護教室を開催しました。

老人家庭看護教室

この教室は、昨年に引き継ぎ二回目になり、その主旨は、脳卒中や老衰等で寝たきりの介護をしてみえる方を中心に、介護の方法清潔保持・排泄介助・食生活等）や

先ばいの力

羽津小六年 中山恵美子



地区運動会の前日に、私たち音楽クラブはバトックラブといっしょに練習をしました。その時、青少協のおじさんが、音楽クラブが表しようされるといふことを話してくれました。思いがけないことだったのでみんなはとてもおどろいていました。その時みんなが、「私が行く、私が行きたい。」と言っている間でしたが、結局、部長である私と副部長の小森さんが代表で行くことになりました。

子育て研究会

羽津中一丁目 内田 節子

私たち子育て研究会は、羽津地区市民センター・サークルの一つとして、毎月一回学習会を重ねており、その一環として二月二十一日(日)に羽津会館にて「家庭教育講演会」を開催しました。

先い先生に「子供のストレスと家庭環境」というテーマで講演いただきました。みなさん！我が子を「よい子に育てたい」と思いますが、自分が「よいお母さんになりたい」と思っていますか。どちらに比重がありますか。子供をよい子に育てたいと思うお母さんはどうしても教えるうとします。結果としてそのわりによりよい子に育たないものです。こ

学校に帰ったら、ちやうどクラブの時間でした。その時、先生がいろいろな話をしてくれました。本当にこんな紙一枚だけで、これは今までの先ばいたちががんばってくれたおかげだと思つと、とても重く感じられました。この賞状は、私たち音楽クラブにとってなによりもすばらしいものだと思います。

羽津小学校の音楽クラブは地域社会福祉の行事に参加してきた活動が認められて、去る十月二十九日の四日市市社会福祉大会で、市長感謝状を頂きました。

羽津地区のみなさんのおかげです。これからもがんばりますので宜しくお願いします。(羽津小学校長 水谷義郎)

真剣な目つき 参加者たち!!



市・社会福祉協議会の行なう福祉サービズ(入浴車・家庭奉仕員派遣制度等)の紹介、家庭看護用品の紹介等を行なっています。

高齢化に伴って、寝たきりの方が年々増加しているため、介護方法を学習して頂ける機会を作らせていただきました。

この家庭看護教室は、地区の皆様のお希望があれば、今後も実施していきたいと考えています。昭和六十三年度については、これに加えて、今後ますます高齢化社会が進む中、明るく健康な老後を過ごしてもらえらるための健康講座として、「いきいき教室」を開催する予定です。

さあ、積極的な健康づくりのために、この教室への多数の御参加をお待ちしています。詳しい日程は、今後の広報を御覧下さい。(市保健衛生課)

子育ての二つを 教えてもらいました



ノイローゼ・心身症・家庭内暴力はどの問題もほとんど親の責任です。それはなぜか？

子供は、親の姿をみて成長するからです。みなさん我が子をしてあげて下さい。子育てを通して、親も子と共に育つ家庭共育です。

内容は、幼児期・児童期・中高生期全体の勉強です。お母さんばかりでなく、お孫さんを守りしつていらつしやるおじいちゃん・おばあちゃんも役に立ちます。会費はいりません。子供さんを連れながらお越し頂いても結構です。ご来場心よりお待ちしております。

・時間 毎月第二火曜日 午前10時～12時
・場所 羽津地区市民センター
・講師 家庭教育カウンセラー 大井 通江 先生

地区文芸

短歌

(羽津野短歌会より)

小林 英選

新年に息子来りておしやれをばす
すめてラメ入りのセーター呉れぬ
別名四丁目 青木 照子
あたたかき師走の幾日軒下に干せる
大豆の黄弾づる音
いかるが町 伊藤 品子
いく度か誓ひし禁酒の甲斐ありて
正月過ぎをさはやかにをり
大宮町 小井 正二

新春の東の空よりジャンボ機の巨
体あらはる名古屋空港
大宮西町 井村 左兵衛
皺少なき紙幣をえらび釣銭を呉れたる
花屋の印象快し
羽津町 梅本 きん
家計簿をしめくりつつ夫と二人
除夜の鐘持つときを足らへり
大宮町 加藤 光子
竜飛崎の崖のなでしこ傾きて花咲
きてをり荒き海風
羽津山町 坂倉 俊枝
十五夜に供えしすき夕光にはやは
ほけ立つこよひ立待
富士町 杉本 光子
仏前に過ぎゆく年を謝する時新年告
ぐる汽笛ひびけり
富田浜町 早川 澄枝
茶晶の土手に咲きぬし蔓珠沙華燃
えがらのごとくすがれて立てり
川原町 平子 季昭

俳句

(志氏野句会より)

村田 青麦選

減反に青刈りせしが萌え出でてみ
のりの穂を垂る三畝の稽田
羽津町 広瀬 敦子
白き杖要らぬ黄泉路を行きますか
極見送り手を合はすなり
羽津町 藤井 まきへ
ナナカマド赤き津軽に三姉妹旅ゆ
きたりき姉は早やなし
桑名市 村田 千代
亡母のせし如くにひろげ梅を干す
城山町 片岡 ととき代
白壁の蔵を遠くに稲架の縞
刈り終へし棚田棚田の彼岸花
久志本 幹子
露草の柄着て舞ふや鶴の舞
大宮町 武藤 弘子
露涼し白き鼻緒の宿の下駄
城山町 川本 ふみ
蟬の吻胸に納めて屍にみたり
白須賀二丁目 館 二三子
青瓢三つ見えある漁家の軒
羽津町 藤井 まきへ
百合白しまた来し揚羽花に垂れ
羽津町 藤井 まきへ
山道や葉がくれに咲く葛の花
別名五丁目 水谷 安代
斧上げし蠶の目の輝けり
いかるが町 安田 源吉
鶯や湯宿に近く老を啼く
城山町 宮田 健蔵
日の軒に干しある胡麻のこぼれを
羽津町 大森 みつゑ

地区市民センター講座あれこれ

エチケット教室に 参加して

緑丘町 竹内 眞理

エチケット教室の案内を回覧で見たのは、昨年の八月頃でした。でしょうか。内容は、日常のマナーで訪問から始まり、贈答、飲食、言葉使い、お茶の出し方の計五回と書かれていました。

今まで特に「マナー」について習ったということのない私です。で、一度お聞きして見ようと思いい申し込みを致しました。



▶大変、為になった
日常のマナー!!

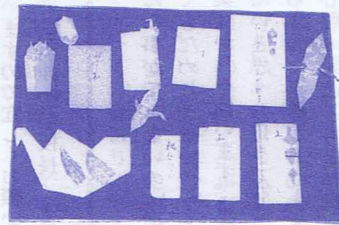
しいなと思いつつ参加した第一回目ですが、参加された年代もさまざま、みんな熱心に先生の話に耳を傾けていました。

先生は、他でも礼儀作法を教えてみえ、時間どおりにきちんと始められ、毎回、細かい準備をされてこの教室に臨まれ、私たちに丁寧に教えて下さいました。ここに内容の一部を御紹介します。

まず、第一回の訪問のマナーでは、訪問は前もって連絡をしてから。約束の時間通りか、二三分早目に。またお客様をお通しする場合、洋式の場合、一番が長椅子、二番がひじ掛け椅子、三番がひじ掛けなし、四番が背なしという順番で。いつもどちらか迷っていましたのでよく分りました。

二回目の贈答のマナーでは、のし袋の書き方や風呂敷の扱い方などを習い、実際よく使われるのし袋の書き方においては、「御札」は目上、目下関係なしに使い、「寸志」は目下、「薄謝」は目上に、「志」は寺・神社などへ、また「上」「粗品」は、ちょっととした心付けに使うということを教えて頂き、大変参考になりました。

三回目は、飲食のマナーで、ここでは配膳の仕方、食事の仕方、お箸の使い方などを習いました。四回目の言葉のマナーでは、既



▲手紙や懐紙を使ってこんな物もつくりました…?

に皆さん御承知の電話のかけ方や会話の仕方です。注意すべき事柄を覚えて頂きました。

最後の五回目は、お見舞いのマナーとお茶の出し方を習いました。これらのことは、日常生活の中で使っているわけですが、私の場合いかに自己流でいい加減だったのかと反省させられました。以上が概略ですが、沢山教えて頂きましたので書ききれないのが残念です。人と人の交わりの為にどうしても必要なマナー。とても大切な事を教えて頂き、これからの生活の中に少しでも生かしていきたいと思えます。



優美なマナー

別名 二目 小平 容子

師走に入った三日「テーブルマナー講習会」に、二十数名の方々と一緒に参加させて頂きました。

にこやかな対応で、市民センターの方に迎えられ、新四日市ホテルに送迎バスでむかいました。ホテルで講師の先生に、説明とスライドを見せていただき、実際に洋風フルコースをいただくことになりました。

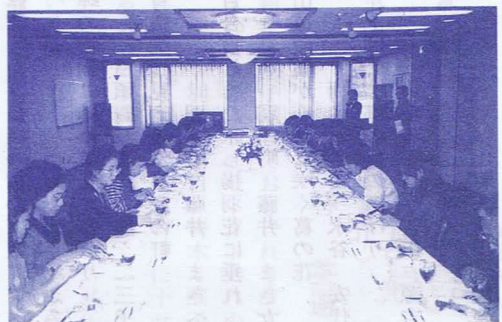
前菜、スープと順次運ばれてきました。みなさんとても緊張していらつしやいます。メインの料理が出てくる頃に、やつと笑顔がのぞき、会話がはずんできました。デザート、コーヒーとゆつたりとした気分でした。楽しく勉強をさせて頂きました。

今回、学んだマナーをふだんの生活の中に取り入れたいと思えました。和食・洋食を問わず食事のマナーは、どんな時にでも応用するのが自然の法になつていて立居振舞を美しくします。

アメリカのエマソンが「優美なる行儀(作法)は、美しきことの中の最も美なるものである」といっています。これからも美しいマナーを身につけてゆきたいと思えます。

地域でこのような催しがなされたことがすばらしいと感じます。今後ともときどき勉強会を持つ機会

緊張した テーブルマナー講習会



を作っていただいたいと思います。それが地域社会の人々の間を、なめらかにする役目をするのでしよう。

あとがき

地区広報「はづ」第十六号をお届けします。

今回は、地域の活動を取り上げてみました。寄稿に御協力いただいた方々に感謝申し上げます。紙面の都合上、割愛させていただいた事を御了承下さい。

なお、何かお気づきの点がありましたら、市民センターまでお聞かせ下さい。また広報づくりに興味のある方は御一報下さい。お待ちしております。